

横須賀ミニバスケットボール連盟
代表者並びにチーム関係者各位

熱中症対策 ～メディカルタイムアウトについて

日頃より連盟活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。熱中症予防の観点から、有馬カップ大会において「メディカルタイムアウト」を導入します。

メディカルタイムアウトとは、試合の途中に30秒間のタイムアウトをとって、「汗を拭く」「水分補給」を行うものです。このメディカルタイムアウトは、普通のタイムアウトとは異なるのでコーチが作戦を指示する時間ではありません。しっかりと選手が「汗を拭く」「水分補給」を行ってください。

1. メディカルタイムアウト運用方法

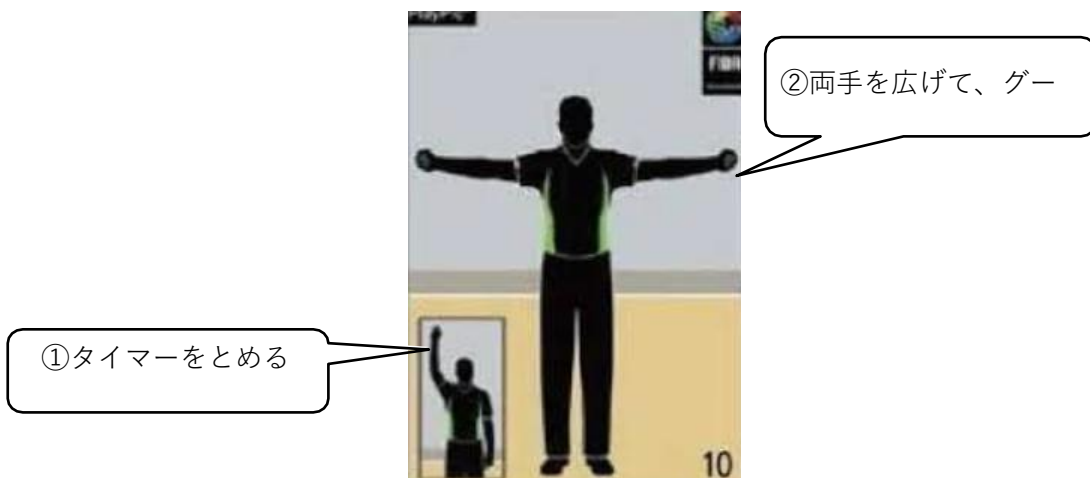
有馬カップにおいて、全日程・全試合・全会場で運用する。

2. メディカルタイムアウトのルール

- ・第3クォーターで、半分の時間（3分）が経過し、ボールがデッドになったら、自動的に30秒間のメディカルタイムアウトになります。
- ・メディカルタイムアウトは、どちらのチームのタイムアウトにも数えません。
- ・第1.2.4クォーター及び各オーバータイムではメディカルタイムアウトはとれません。

3. TO (テーブルオフィシャルズ)

- ・スコアラーとタイマーが協力して、メディカルタイムアウトの時期が来たらブザーを鳴らして、図の合図をして、審判と選手に伝えてください。
- ・ストップウォッチで30秒を計ったら再開のブザーを鳴らしてください。20秒過ぎてからの呼鈴は鳴らす必要はありません。
- ・スコアシートにメディカルタイムアウトを記入する必要はありません。



4. 選手やチーム

- ・選手はベンチに戻って、「汗を拭く」「水分補給」をしてください。
- ・30秒のブザーが鳴ったら、速やかに試合が再開できるように協力してください。
- ・審判も「汗を拭く」「水分補給」をしているので、審判への質問はしないでください。

5. 審判

- ・審判は「汗を拭く」「水分補給」をしてください。
- ・TOからメディカルタイムアウトを知らされたら、審判も図の合図を行って、選手やチームに伝えてください。

6. メディカルタイムアウト Q&A

Q：ボールがデッドの状態って何ですか？

A：バイオレーションやファウル等で、審判の笛が鳴り、ゲームクロックが止まった状態です。また、ゲームクロックは止まりませんが、シュートが入ったときもボールがデッドの状態です。つまり普通のタイムアウトがとれるタイミングと同じです。

Q：メディカルタイムアウト中に、コーチが選手に指示をしてもいいのでしょうか？

A：指示はできません。「給水」「汗拭き」の声かけのみとなります。

Q：タイムアウトの請求とメディカルタイムアウトの時期（3：00以下）が重なったら、どうしたらいいですか？

A：メディカルタイムアウトを優先してください。

その後、普通のタイムアウトが必要かどうか、請求したチームに審判が確認してください。もし、チームが不要であれば普通のタイムアウトの請求を取り下げてください。

Q：ちょうど「3：00」でゲームクロックが止まりました。メディカルタイムアウトはとれますか？

A：とれます。タイマーの表示が「3：00」の状態を含みます。

Q：ゲームクロックが「3：01」でシュートが決まり、スローインをする前に「3：00」になりましたが、メディカルタイムアウトはとれますか？

A：とれません。シュートが決まったときに「3：00」を経過していなければ、メディカルタイムアウトはとれません。

Q：うっかりメディカルタイムアウトをとり忘れてしまいました、どうしたらいいですか？

A：次のタイミングでメディカルタイムアウトをとってください。また、そのようなことの無いようにTOと審判で協力しましょう。

Q：オープン試合（5分4Q）の場合はどうなりますか？

A：上記記載ルールを適用します。